

ごんぎつね

新美南吉作

【第一場面】

◇時

- ・ある秋のこと

◇場所

- ・村の小川のつつみ



◇登場人物

○ごん（きつね）

- ・ひとりぼっちの小ぎつね
- ・森の中に、あなをほって住んでいた。
- ・いたずらばかりしていた。
- ・兵十にいたずらをした。



○兵十

- ・ぼろぼろの黒い着物
- ・うなぎやきすをとっていた。



【第二場面】

◇時

- ・ 十日ほどたって
- ・ お昼がすぎる
- ・ そのばん

◇場所

- ・ 兵十のうちの前
- ・ 村の墓地
- ・ あなの中

◇登場人物

- ごん（きつね）
- ・ いたずらをしなけりやよかった
と思った。

- 兵十
- ・ おつかあにうなぎを食べさせる
ことができなかった。

- 兵十のおっかあ
- ・ 死んでしまった。



【第三場面】

◇時

- ・ある日（書かれていない）

◇場所

- ・赤いいどのところ
- ・物置

◇登場人物

○ごん（きつね）

- ・つぐないをした。
- ・いわしをぬすんで、兵十のうちへ放りこんだ。
- ・くりや松たけを兵十のうちへ持っていった。

○兵十

- ・麦をといでいた。
- ・ひとりぼっち。
- ・ぬすびと思われた。

○弥助のおかみさん

○いわし売り



【第四場面】

◇時

- ・月のいいばん

◇場所

- ・道のかたがわ

◇登場人物

○ごん（きつね）

- ・遊びに出かけた。
- ・兵十と加助の話聞いた。

○兵十

- ・加助に不思議な話をした。

○加助

○吉兵衛



【第五場面】

◇時

- ・月のいいばん

◇場所

- ・おしろの前

◇登場人物

○ごん（きつね）

- ・兵十と加助についていった。
- ・話を聞いてつまらなくなった。

○兵十

- ・加助といっしよに帰っていった。

○加助

- ・「神様のしわざだ」と言った。

【第六場面】

◇時

- ・ 明くる日

◇場所

- ・ 兵十のうち

◇登場人物

○ごん（きつね）

- ・ くりを持って、中へ入った。
- ・ たおれた。
- ・ 目をつぶったままうなずいた。

○兵十

- ・ 火なわじゅうでごんをうった。
- ・ いつもくりをくれたのはごんだと知った。

